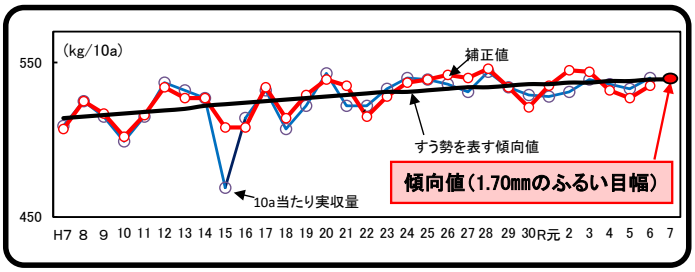
水稲の10a当たり平年収量の算定方法

①10a当たり実収量　（直近30年間）

各年ごとに、不規則な気象効果（気象による不規則な変動要因）を除去し、補正単収を作成後、それを基に長期的すう勢（トレンド）の曲線を算出



②当該年の傾向値（1.70mmのふるい目幅）を算出

検　証 ← 栽培技術や作付品種構成等の変化状況等最近の稲作生産事情

③有識者会議を開催し意見聴取

④当該年の10a当たり平年収量（1.70mmのふるい目幅）を決定

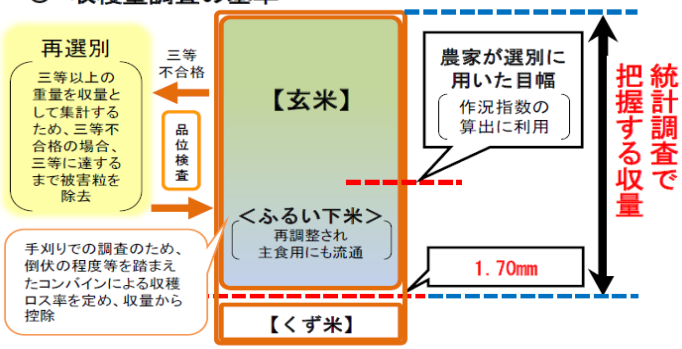
← 10ａ当たり平年収量（1.70mmのふるい目幅）に、都道府県別に最大シェアのふるい目幅を基準とした重量割合を乗じて、農家等が使用しているふるい目幅基準の都道府県別10ａ当たり平年収量を算出

⑤多くの農家等が使用しているふるい目幅の10a当たり平年収量の決定

※なお、水稲の作柄表示地帯別10a当たり平年収量については、6月末頃を目途に決定

ふるい目幅について

○　収穫量調査の基準



○収量基準の考え方

生産者段階では、ふるい下米や色彩選別機ではじかれた米について、くず米として扱われている場合もあるが、本調査は主食用として供給される可能性のある玄米の全ての収穫量を把握することを目的としており、農産物規格規程三等以上かつ1.70mm以上の玄米であれば、収量に含めている。

○ 作況指数の算定に用いるふるい目幅（令和6～8年産用）

都道府県	ふるい目幅	都道府県	ふるい目幅
北海道	1.90mm	滋　賀	1.90mm
青　森	1.90mm	京　都	1.85mm
岩　手	1.90mm	大　阪	1.80mm
宮　城	1.90mm	兵　庫	1.85mm
秋　田	1.90mm	奈　良	1.80mm
山　形	1.90mm	和歌山	1.80mm
福　島	1.85mm	鳥　取	1.85mm
茨　城	1.85mm	島　根	1.90mm
栃　木	1.85mm	岡　山	1.85mm
群　馬	1.80mm	広　島	1.85mm
埼　玉	1.80mm	山　口	1.85mm
千　葉	1.80mm	徳　島	1.80mm
東　京	1.80mm	香　川	1.80mm
神奈川	1.80mm	愛　媛	1.80mm
新　潟	1.85mm	高　知	1.80mm
富　山	1.90mm	福　岡	1.85mm
石　川	1.90mm	佐　賀	1.85mm
福　井	1.90mm	長　崎	1.80mm
山　梨	1.85mm	熊　本	1.85mm
長　野	1.85mm	大　分	1.85mm
岐　阜	1.80mm	宮　崎	1.80mm
静　岡	1.85mm	鹿児島	1.80mm
愛　知	1.85mm	沖　縄	1.80mm
三　重	1.85mm		